

就労準備型放課後等デイサービスこすもすカレッジ豊四季教室

保護者評価表

職員評価表

自己評価総括表

公表日 2026年3月31日

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|------------------|---|----|---------------|-----|-------|--|---|
| 環境・ 体制 整備 | 1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 23 | 5 | 1 | | | |
| | 2 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 25 | 1 | | 3 | | |
| | 3 生活空間は、こどもにわかりやすく構成された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 21 | 3 | 2 | 3 | | |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 25 | 3 | | 1 | | |
| 適切な 支援の 提供 | 5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 27 | | 1 | 1 | | |
| | 6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 27 | 1 | | 1 | | |
| | 7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 27 | 2 | | | | |
| | 8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 27 | 1 | | 1 | | |
| | 9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 28 | 1 | | | | |
| | 10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 26 | 3 | | | いつも気になる活動ばかりです。 | |
| | 11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のもとも活動する機会がありますか。 | 10 | 7 | 4 | 8 | 他の教室と交流していただいています。地域との交流は望んでいません。 | 今後も他教室との交流を中心に活動していきたいと思えます。交流の際は予めカリキュラム表でお知らせいたします。 |
| | 12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 29 | 1 | | | | |
| | 13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 28 | 1 | | | | |
| | 14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族も参加できる研修会や情報提供の機会が行われていますか。 | 16 | 8 | 4 | 1 | | |
| | 15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。 | 24 | 4 | 1 | | 連絡帳でいつも丁寧にやりとりしていただいています。 | |
| 保護者 への 説明等 | 16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 26 | 2 | 1 | | | |
| | 17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 27 | 2 | | | | |
| | 18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 9 | 8 | 7 | 5 | 父母の会、保護者会、卒業生の親を招く会などの開催を希望します。特に求めています。 | 保護者会や保護者参観など実現できるよう努めます。 |
| | 19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 27 | 2 | | | | |
| | 20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 26 | 2 | | 1 | 寄り添ってくれていると感じないことがありました。 | 悲しいお気持ちにさせてしまい申し訳ありません。今後保護者様や子ども達に寄り添った支援ができるよう十分に配慮していきたいと思えます。 |
| | 21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。 | 23 | 2 | | 4 | | |
| | 22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 28 | | | 1 | | |
| | 23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 18 | 6 | 1 | 4 | | |
| 非常時 等の 対応 | 24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 16 | 8 | | 5 | | |
| | 25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 24 | 3 | | 2 | | |
| | 26 事故等（怪我等を含む）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 23 | 4 | | 2 | 事故等はありません。 | 今後も安全に十分配慮して活動してまいります。 |
| | 27 こどもは安心感をもって通所していますか。 | 28 | 1 | | | 安心して通っています。 | |
| 満足度 | 28 こどもは通所を楽しみにしていますか。 | 26 | 2 | | 1 | とても楽しそうです。職員さんが変わるのは嫌なようです。緊張気味ではありますが。 | 今後も楽しみに通っていただけるよう子ども達の様子をよく見て支援していきたいです。 |
| | 29 事業所の支援に満足していますか。 | 28 | 1 | | | 役立つ様々な支援をいつもありがとうございます。 | |

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 |
|--------------|---|----|-----|---|---|
| 環境・体制整備 | 1 利用定員が発達支援等のスペースとの関係で適切であるか。 | 7 | | 一人一人支援が行き渡るよう人数に工夫しています。 | |
| | 2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 5 | 2 | | 千里千里の人員配置なので不測の事態の対応が難しいと思われます。 |
| | 3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 4 | 3 | | 入口の階段にスロープや手すりがあれば良いと思います。 |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 5 | 2 | 毎日清掃を行い清潔に保っています。 | 教室保管の書類が年々増えて活動スペースが減ってしまっています。 トイレがひとつしかないのが不便に感じることがあります。 |
| | 5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 6 | 1 | | 部屋数に限りがあるため充分ではないと感じます。 |
| 業務改善 | 6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか。 | 5 | 2 | | 業務改善のPDCAサイクルがあることをまだ知らない職員もいたため、普段の業務やミーティング等の中で今後も継続して取り組んでまいります。 |
| | 7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 5 | 2 | 毎年ホームページに公開、職員にも案内をしております。今後も継続して対応してまいります。 | 非常勤職員にも周知してまいります。 |
| | 8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 7 | | | |
| | 9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 4 | 3 | | |
| | 10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 7 | | | 確保はされているが向上までにはほど遠いため年度より研修時間内に意見交換やセッションをする機会を設けて改善していきます。 |
| 適切な支援の提供 | 11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 6 | 1 | | |
| | 12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 7 | | | |
| | 13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 7 | | | |
| | 14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 6 | 1 | | 普段ミーティング等で活用している計画について今後も全職員で共有、意識して支援できるような努めてまいります。 |
| | 15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 7 | | | |
| | 16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 6 | 1 | | 全職員共通の認識としてさらに理解を深められるよう努めてまいります。 |
| | 17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 7 | | | 各プログラムを1人で担当しているため立案時に共有・相談できる環境を整備していきたいです。 |
| | 18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 7 | | | |
| | 19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 6 | 1 | | |
| | 20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 6 | 1 | | 午後からの出勤する職員とも共有するためにミーティング内容の周知、日々のコミュニケーションに努めてまいります。 |
| | 21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 6 | 1 | 翌日のミーティングに参加できない職員がいればその日の内に情報共有をしています。 | |
| | 22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 7 | | | |
| | 23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 7 | | | |
| | 24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。 | 6 | 1 | | |
| | 25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。 | 7 | | | |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。 | 7 | | | |
| | 27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 4 | 3 | 必要に応じて管理者や発着管が対応しております。 | |
| | 28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 6 | 1 | | |
| | 29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 4 | 3 | | |
| | 30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 5 | 2 | | |
| | 31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | 4 | 3 | | 地域資源の活用をする上で地域にどのような方が在居されているかの情報収集が必要と思われます。 |
| | 32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | 2 | 5 | 就労準備型の放デイとして就労に関わる場所との交流は実施できていると思います。 | |

| | | | | | | |
|--------------|----|--|---|---|--|--|
| 関係機関や保護者との連携 | 33 | (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。 | 4 | 2 | | |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。 | 7 | | | |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供を行っているか。 | 3 | 4 | | 職員もペアレント・トレーニングの研修を積む機会を設ける必要を感じます。 |
| 保護者への説明等 | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 7 | | | |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 7 | | | |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | 7 | | | |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 7 | | | |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 4 | 3 | | 進学や就労についての情報共有ができる場の設定を検討していくことが望ましいと感じます。 |
| | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 7 | | | |
| | 42 | 定期的に通信等を行うことや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 7 | | | |
| | 43 | 個人情報取扱いに十分留意しているか。 | 6 | 1 | | HUGに子どもログインできてしまう環境があるため職員と子ども連の使用するパソコンの使い分け、また個人情報保護のため書類類の廃棄を徹底します。 |
| | 44 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 7 | | | |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 4 | 3 | | |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 5 | 2 | | |
| | 47 | 業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 6 | 1 | | |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 5 | 2 | | |
| | 49 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 5 | 2 | | |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 6 | 1 | | |
| | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 6 | 1 | | |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 7 | | | |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 6 | 1 | | |
| | 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 6 | 1 | | |

| | | | |
|----------------|----------------------------|----|-----------|
| ○事業所名 | 就労準備型放課後等サービスこすすカレッジ豊四季教室 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2026年 2月 1日 ~ 2026年 2月 28日 | | |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 44 | (回答者数) 29 |
| ○従業員評価実施期間 | 2026年 2月 1日 ~ 2026年 2月 28日 | | |
| ○従業員評価有効回答数 | (対象者数) | 7 | (回答者数) 7 |
| ○事業所向け自己評価表作成日 | 2026年 3月 26日 | | |

○分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|--|--|
| 1 | 事業所のカリキュラムが固定化されておらず、楽しむことを前提として工夫がされている事。 | 季節や行事に合わせて、事業所内でも四季を感じられるようなカリキュラム作成を意図している事。 | 中高生がボリュウムゾーンとして関わっており、できること、行ける場所が多い為、できる限りたくさんの方が経験できるように致します。 また、就労を意図して、継続支援や移行支援の事業所の見学ができるように他事業所様との連携も取って参ります。 |
| 2 | 保護者様とご利用者様の発達や状況の共通理解ができている事。 | 送迎時や連絡帳にて様子を伝えること、また伝えるための練習や引き渡し時に新規の先生でも伝えられるように、添乗する職員をつけることで、なるべく誰が送迎、連絡帳を書いても変わらないように職員が共通意識を持っている事 | 職員全員がご利用者様の課題を理解するために、毎朝のミーティングで一人一人の課題や、今日頑張ったほいことをその日の職員で話し合いを行い、より良いサービスの提供ができるよう一人一人の支援力を向上させていきます。 |
| 3 | 通っていたいたっている保護者様とご利用者様が望まれる支援に近いものを提供できている。 | モニタリング時に保護者様のニーズ、ご本人とは日常的にニーズを聞くことを意識している。 | 当事業所で学んだマナーやソーシャルスキルが仕事や新たなステージで発揮されるように支援を行います。 また、仕事を意識できるようにカリキュラム内で報酬を取り入れた時間を月に1度、各曜日ごとに用意し、仕事や報酬を体験できるようなカリキュラムを提供できるように致します。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|---|--|
| 1 | 保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されていない | ご契約いただいているご家庭すべてに対して同日に保護者会を開催することが事業所の広さを考えると難しかったため。 | 年に数回の開催ができるように体制を整えて実施して参ります。またできるだけ保護者様のご希望に添えるよう日程調整して参ります。 |
| 2 | 非常災害時の避難や救出などの訓練を行っているが、周知できていない事。 | 実施はしているものの、非常災害訓練は不定期の開催であり、実施した事の周知が足りていなかった事が要因と考えられる。 | SNSや連絡帳などを利用して訓練を行った旨の周知を行います。訓練予定にご利用予定の保護者様に周知を行い、どのような内容を行ったかのご報告を行います。 |
| 3 | 地域の場の活用や地域住民(子ども)との関わり | 土曜日や長期休暇には地域のイベントへの参加や公共施設、公園、店舗の利用等、地域との交流が図れているが、平日の支援では地域の場の活用や子ども達と交流する機会が提供することが難しいこと。 | 他教室との交流を増やすことで事業所外での関わり機会を設けています。今後も平日においても、可能な限り(下校時間が早い時等)公共施設を利用し、地域の場の活用や地域の方との交流を増やしていく。地域のボランティア団体などの受け入れを行っていく。 |